

ものの見方を広げる

副校長 中塩 百合

学期末になると、各学年の「つどい」に参加します。全学年の様子を見ると、学年ごとの確かな成長を実感します。初めて参加した1年生は、講堂に全員が集まること自体が新鮮で、好奇心いっぱいの目であたりを見回す姿がとても初々しく映ります。一方で学年が上がるにつれて、振り返りの内容は深くなり、自分を見つめる目も客観的になっていきます。

特に6年生になると、テーマを追求する視点が一人ひとり異なり、友達の発表を聞く皆の視線にも真剣みが増して、身を乗り出して耳を傾けています。自分の失敗や悩み、迷いも正直に打ち明けるとともに、それを乗り越えるためにとった行動や思考、知恵と工夫、そして支えてくれた周囲の言葉などが語られ、大変聞きごたえがあります。思春期に差し掛かる子どもたちにとって、「迷い悩んでいるのは自分だけではない」と知ることは非常に大切です。ともに歩む友を得たような安心感を抱くと同時に、友達の姿が自分の背中を押してくれるヒントにもなります。

先日、出版社に勤める本校卒業生が手がけた『雨色のキャンパス』（七海まち 小学館）という本を読みました。ある日突然、仲が良いと思っていた友達とギクシャクしてしまい、教室に入れなくなってしまった中学生の女の子の物語です。彼女は新しい出会いを通じ、絵画の鑑賞などを通して「自分に見方があるように、友達にもその子なりのものの見方がある」「ものの見方は決して一つではない」ということに気づいていきます。そして、自分が固定観念に押しつぶされていたことに気づき、より自由な思考を獲得していくのです。

悩み多き思春期には、「自分だけが特別な苦しみの中にいる」と思い込み、周りを羨んだり妬ましく思ったりしてしまうこともあります。けれど、誰もがそれぞれの悩みの真ただ中にいます。「自分だけではない」と気づくだけで、湧き出てくる勇気があります。

「つどい」に真剣に参加していた子どもたちが、友達の経験から一つでも大切なものを受け取り、勇気を持って一步を踏み出してくれたらと願っています。そして、その一步をそっと支えてくれるような、たくさんの本との出会いがありますように。

4年生校外学習



6年生校外学習

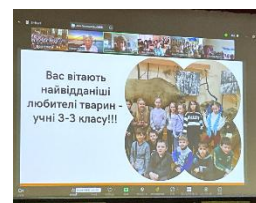


※夏場に使用したピケの帽子を洗濯なさる場合は、伸びたゴムの取替もお願いいたします。

世界とのつながりを意識

児童会 松瀬 仁

『ウクライナ交流会』



初等科では、一昨年度から代表委員会を中心に、ウクライナの小学校・中学校・高等学校とオンライン交流を続けています。この交流会では、仲介して下さっているドンチュバ先生と、シスター穎川にご協力をいただき、ウクライナ語を英語に、英語を日本語にと3カ国語を通訳していただきながら、「好きな教科」や「クリスマス、お正月の過ごし方」などをテーマに文化の違いや共通点などに驚きながら心を通わせてきました。

また昨年度は、発電所への攻撃により、厳冬の中、暖房が使えないというニュースを受け、カイロや手袋の寄付を募ってウクライナへ送る支援活動を行いました。後日、ウクライナの子どもたちから感謝のメッセージと動画が届きました。子どもたちも、自分たちの支援が現地の方々の力になっていることに大きな喜びを感じていました。

今年度は「ペット」をテーマに交流しました。ウクライナでも猫がペットとして人気があることや、馬やねずみなど思わぬ動物がペットとして登場し、子どもたちからは喜びや驚きの声があがりました。

ウクライナとの交流を終えて、子どもたちから「戦争をしていると聞いてもあまり実感がわきませんでした、お互いの国のペットについて知り、気持ちを共有することで、どんなに離れていても私たちの心はつながっていると感じることができました。（中略）みんなが笑顔になっていて、対話は人をつなぐ大切な架け橋なのだと知りました。」などの感想が寄せられました。



『ハイチデー』



初等科では、年に3回「ハイチデー」という取り組みを行っています。これは、買ったつもり、食べたつもりで貯めた「つもり貯金」を、ハイチをはじめ、ウガンダ、フィリピン、コンゴ民主共和国、インドネシアなどの支援を必要とする国々へ募金としてお送りする活動です。

代表委員会では、初等科生の意識を高めるために、日本の100円で募金先の国ではどのようなものが買えるのかという「お金の価値の違い」を学んだり、コンゴ民主共和国と日本の違いを調べてポスターで掲示したりしてきました。学びを深める中で、日本が豊かな国であることを再認識し、私たちがいただいているお恵みを皆で分かち合う必要性について考えました。なお今回のハイチデーでは、ベネズエラで大きな地震があったことを受け、ベネズエラの方々のためにも使わせていただきました。

初等科生が世界の国の方々に直接手助けをすることや、大きな活動をすることは難しいかもしれませんが、小さなことにも心を込めることで、遠く離れた国の方々ともつながり、心の支えとなれることを学ぶ、貴重な機会となっています。

10月の行事予定

1日(木)	都民の日	13日(火)	後期始業式・身体測定・3・4限平常授業・引き取り訓練
2日(金)	面談日①・午前授業	14日(水)	月曜時間割
5日(月)	面談日②・午前授業	15日(木)	児童会・学委任命式
6日(火)	面談日③・午前授業	19日(月)	1年・転入編入生保護者会
7日(水)	午前授業		6年保護者会
8日(木)	前期終業式	20日(火)	感ずべき御母の祝日(1st)
9日(金)	秋休み(みこころ祭)	21日(水)	3年社会科見学
10日(土)	(みこころ祭)	22日(木)	感ずべき御母の祝日(2nd)
12日(月)	スポーツの日		1st English Day
		30日(金)	3限まで授業

※11月1日(日) 初等科入学試験 2日(月) 学校指定の休業日
3日(火) 文化の日 4日(水) 学校指定の休業日